



ご当地 上場 茨城

No.662

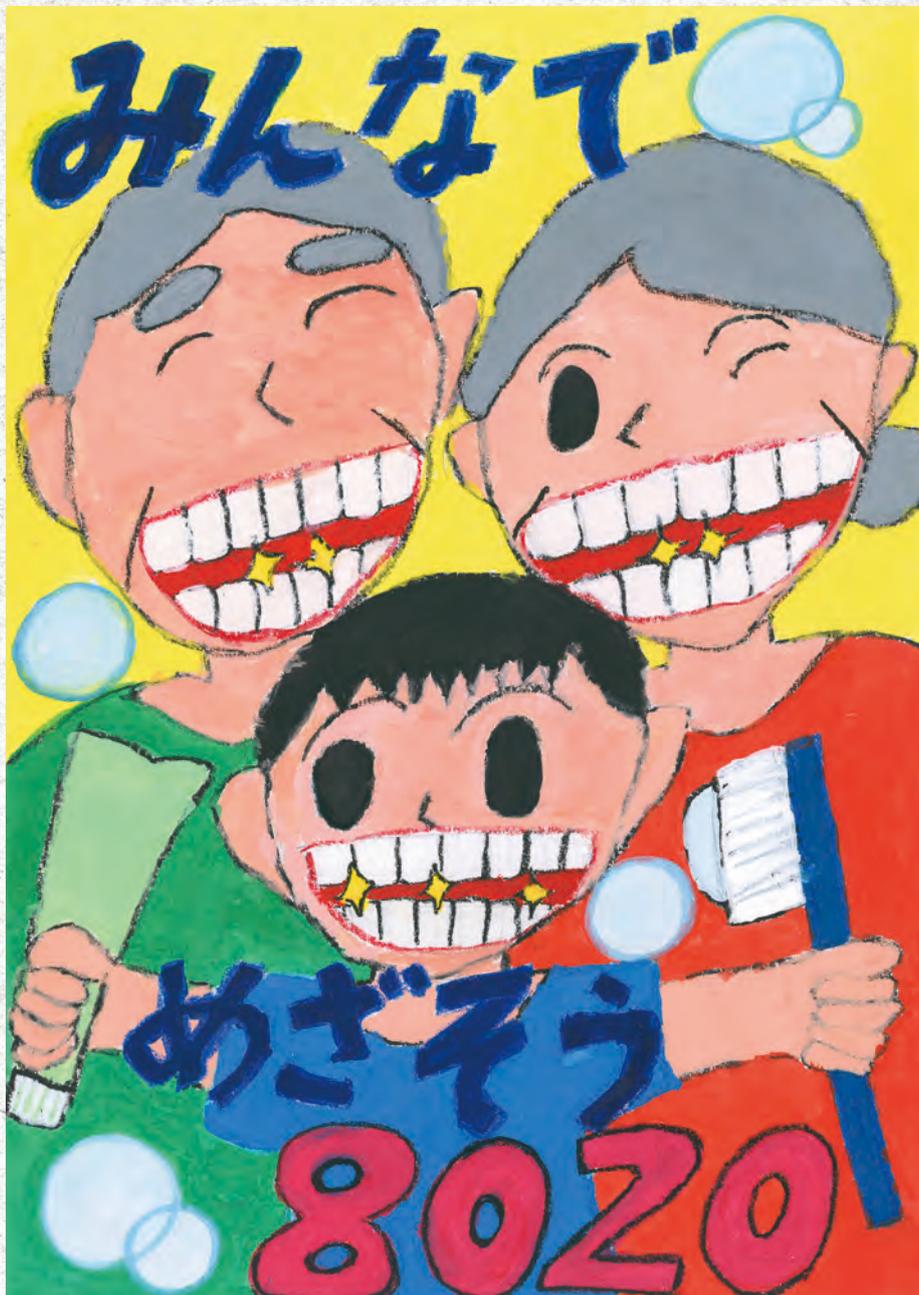
茨城県歯科医師会
Ibaraki Dental Association

November

2024
令和6年

11

茨 歯 会 報



Contents

デンタルアイ	1
小原 俊彦	
会務	5
理事会報告	9
会務日誌	10
学術委員会だより	14
専門学校だより	23
地区歯科医師会だより	24
ピンクのエプロン	26
小野 真由美	

表紙写真について

令和6年度「歯と口の健康に関するポスター」小学生の部 知事賞 町島 優翔さんの作品

進むデジタル化と歯科医療



理事
小原俊彦

平素から茨歯会員の先生方におかれましては茨城県歯科医師会のホームページの運用とメールマガジン茨歯報ITにご理解とご協力いただき誠にありがとうございます、情報管理を担当させていただきます小原俊彦と申します。

今回は思いつくままの拙文で申し訳ございませんが、ご一読いただけましたら幸いです。

さて、私が歯科大学に入学した1986年（昭和61年）、世間ではどんなことがあったかと思い立ち、インターネットを利用して調べてみました。

4月、チェルノブイリ原子力発電所で原子炉が爆発し、原子力発電開発史上最悪の事故が発生。

7月、富士フィルムから使い捨てカメラ（レンズ付きフィルム）「写ルンです」が発売。

11月、伊豆大島の三原山が209年ぶりに大噴火し、1万2000人全員が島外に避難。

それらは全て、テレビ、ラジオ、新聞、などアナログな当時のツールを介して伝達されました。

チェルノブイリの状況をブラウン管テレビの画面から「恐ろしい」と感じました。「写ルンです」使い捨てカメラ（レンズ付きフィルム）で、お正月にみんなで写真を撮っていました。撮った写真は写真屋さんで現像を依頼し、ネガと写真を受け取るまでどう写っているか分かりませんでした。

三原山の噴火を車のラジオで聞き、どうなることかとドキドキしていました。今のように現場の人から送られたスマホの写真や動画も無いので、ニュースや特番のアナウンサーやインタビューの声による情報しかありません。情報量が少ないため不便なようですが、それ故今より脳の疲れが少なかったと感じるのは私だけではないと思います。今はというと、災害や事故の現場からスマホの写真がSNSを通じて公開され、多くの情報がリアルタイムで送られてきます。わたしが原稿を書いているのも原稿用紙と鉛筆ではなく、ノートパソコン（軽くてバッテリーも1日持つ）、書いた原稿はクラウドに自動保存、どこからでもクラウドにアクセスすれば閲覧や編集も可能、ネタに詰まればChat GPTを利用し誰でも小説家並みの文章が書ける、そんな時代になりました。38年前の自分には想像もつかない状況です。

歯科治療の進化と諸問題

では、この時代の流れに歯科はどのように一緒に進化してきたのでしょうか。

単冠やブリッジの補綴は、1950年代より始まった陶材焼付け鑄造冠が、歯科の自費治療として広く普及し一般的になりました。「メタボ

ン」と呼ばれ親しまれてきましたが、近年はジルコニアやガラス系セラミックスによるオールセラミックスに交代が進んできているようです。

義歯については、可能であればリジッドサポートを目標に様々な設計、材料が開発され、欠損補綴の選択肢が広がりました。義歯の装着が困難、下顎の難症例、ブリッジが困難なケースには、インプラント治療が広く普及しています。

印象は、寒天印象からシリコン印象へ進化し、より精密に歯肉縁下まで採得できるようになり、現在はIOS (Intra Oral Scanner) となり、嘔吐反射や印象採得の困難な方に応用できるようになりました。

歯内療法は、根管拡大形成がクレンザーからステンレススチール製の規格化されたファイルで行われるように、また近年はニッケルチタンファイルとトルクや回転を制御できるモーターにより弯曲根管や狭窄根管などを安全に治療できるようになりました。

画像診断は、フィルム撮影からCCDデジタルエックス線写真、イメージングプレートと進化し、CBCTの出現と、とても速いスピードで進みました。

さて、それらは万能でしょうか？

ジルコニアは硬すぎる、リジッドサポートを目標とした義歯は支台歯にトラブルがあるとリカバリーが難しい、インプラントは難症例には適応できないこともある、印象はシリコン印象が親水性とはいえ失敗の可能性がある、IOSは歯肉縁下のスキャンが困難でシリコン印象を取り込む場合もある、歯内療法は全てがニッケルチタンファイルで形成できるわけではなく再治療や根管が大きい場合には他の方法が望ましいこともある、画像診断はデジタルの階調度やソフトにより本来の画像とは少々異なる

結果を出すこともある、など、少し考えただけでもデメリットは数限りなくあります。

そのデメリットを補うのが私たち人間です。結局、人間の介在なしには医療は成り立ちません。

現在の医療保険とICT (Information and Communication Technology)

さてここで、治療から医療保険に視点を変えてみましょう。

「歯科点数表の解釈」令和6年6月版(通称青本)を参照すると、印象採得や仮床試適の加算には歯科技工士連携加算1と歯科技工士連携加算2がありますが、どこが違うのでしょうか。印象採得を行う場合には、歯科技工士連携加算1は、「印象採得を行う際に歯科医師が歯科技工士とともに対面で補綴物製作に係る…」、歯科技工士連携加算2は「印象採得を行う際に歯科医師が歯科技工士とともに情報通信機器を用いて補綴物製作に係る…」とあります。つまり、対人で行えば歯科技工士連携加算1、情報通信機器 (ICT、ICE) を用いて行えば歯科技工士連携加算2を算定します。歯科技工士も自分のオフィスからタブレットなどを利用して印象採得や試適に立ち会うことが出来ます(リアルタイムの会話や動画も可能)ので診療所の訪問による時間を短縮し、より正確な補綴物製作の一助になることでしょう。今や、スマホやタブレットは多くの人が所持し、高性能なカメラも内蔵されていますので、特別な機材の購入も必要ありません。

その他にも、訪問診療等さまざまな項目でICTは活用されています。

ICTの活用

最近頻繁に耳にするようになったICTについて考えてみたいと思います。

ICT (Information and Communication Technology) とは、インターネットやアプリケーション、SNSなど、情報通信機器を用いて行うコミュニケーションを実現する技術のことで、通信でつながっている現代においては必要不可欠な技術となっています。歯科医療における活用を考えると、患者管理、患者とのコミュニケーション、デジタル画像処理、遠隔診療、など多くのことがあります。

患者管理については、患者のデータ（診療履歴、X線画像、治療計画など）をデジタル化し、効率的に管理・共有することで診療ミスの防止や効率化を図ることができます。

患者とのコミュニケーションは実際に診療所まで来られない患者さんにも良質な歯科医療を提供できる可能性があります。

デジタル画像処理により、今まで不可能だった3Dイメージングにより歯や顎骨の三次元モデルを作製することで、歯科治療の精度向上を期待できます。

遠隔診療については、訪問診療の延長だけでなく、例えば特定の処置や手術を指導医にアプリを通じてリアルタイムで確認してもらいながら経験の少ない先生でも指導医と同じような医療を提供できる、などの可能性を期待できます。「指先に目を付けろ」と教えられた私達の世代（私だけかもしれませんが）にはうらやましい限りです。卒後間もなくからそのような実践的な教育と研修を受けることで、多くの素晴らしいドクターが出現してくれると信じています。

茨城県歯科医師会のデジタル化への取り組み

この会報をご覧頂いている会員のみなさま、茨城県歯科医師会のホームページを閲覧いただいていますでしょうか？

茨城県歯科医師会のHPは、

1. 茨城県歯科医師会ホームページ
..... 496ページ
2. 茨城県歯科医師会データルームホームページ
..... 1548ページ
3. あなたの街の歯医者さんホームページ…
..... 1152ページ
4. 再就職支援ホームページ..... 29ページ
5. 茨城歯科専門学校ホームページ
..... 120ページ

と、多くの情報を会員のみなさまに閲覧いただけますよう、役員・各委員会委員・事務局一丸となって日々工夫と更新を行っております。とくに、会員のみが閲覧出来る【茨歯会資料室】（会員専用をクリック）は、新しい順で【最新情報】に掲載しています。【最新情報】の閲覧したい項目をクリックしていただくと目的の情報が得られます。また、過去の重要な情報や資料などは【茨歯会資料室】の左側の項目を選んでいただき閲覧いただけます。施設基準資料や講演会などいつでも閲覧出来るようにしています。茨歯会報は【広報委員会】からPDFで閲覧できます、過去の会報閲覧の際にも是非お役立てください。また、茨歯会メールマガジン「茨歯報IT」へご登録いただければ資料室掲載や最新の情報をリアルタイムでお届け致します。

終わりに

歯科医療は、術者の技術に依存して行われている部分がまだまだ多いと思います。もちろ

ん、歯冠形成や根管治療など、歯の方向や様々な要素により、術者の技術に頼らざるを得ないことも多くあります。だからこそ、ICTの活用により3Dイメージングにより得られた根管の形態を活用し難症例を克服できたら、治療用義歯で得た総義歯の形態をIOSでスキャンして全く同じ形態の総義歯が製作できたら、などこれ

からの歯科医療にデジタル化を導入し進めることは、アナログ世代の我々から見ても有益でありまた大変楽しみです。歯科医療にデジタル化を進めることが、医療を通じて国民の健康に寄与すると信じて、これからも努力していきたいと思えます。



株式会社岩瀬歯科商会 と 株式会社ウチャマ は ヘンリーシャインジャパンイースト株式会社 に社名変更いたしました

改めまして、私たちはヘンリーシャインジャパンイーストです！

We try best! -for healthy and white teeth-

事業所案内

宇都宮支店	宇都宮市平出工業団地37-6	TEL:028-613-5858
水戸支店	水戸市白梅2-8-18	TEL:029-225-6543
松戸支店	松戸市幸谷1504-4	TEL:047-345-3131
千葉支店	千葉市中央区浜野町879-1	TEL:043-305-1182
上野支店	台東区台東2-23-7	TEL:03-3832-8241
古河支店	古河市下山町9-60	TEL:0280-30-1582
福島支店	福島市鎌田字卸町4-1	TEL:024-552-1161
世田谷支店	世田谷区玉川台2-11-17-101	TEL:03-5491-7595
練馬営業所	練馬区豊玉北4-14-11 1F	TEL:03-5912-1180
横浜支店	横浜市磯子区中原2-1-19 1F	TEL:045-770-4182
前橋支店	高崎市京目町176-2	TEL:027-350-8241
厚木支店	厚木市酒井2087-14	TEL:046-228-5550
大宮支店	さいたま市見沼区東大宮7-41-1	TEL:048-688-1740
盛岡上堂支店	盛岡市上堂1-6-5	TEL:019-648-2777
盛岡本宮支店	盛岡市本宮6-24-43 1F	TEL:019-635-7750
東大和支店	東大和市立野3-640-1	TEL:042-590-5770
つくば営業所	つくば市花室940-6	TEL:029-863-0720
仙台支店	仙台市若林区荒井5-7-6	TEL:022-794-7066

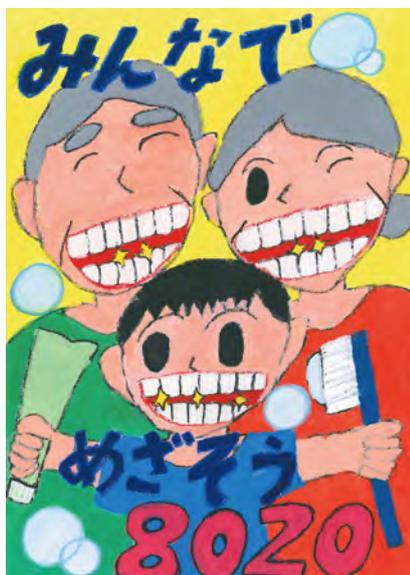
会務

令和6年度歯のポスター優秀作品決まる

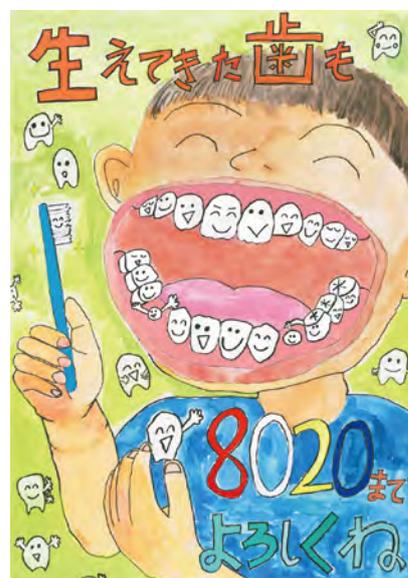
令和6年度「歯と口の健康に関するポスターコンクール」審査会が9月11日（水）午前9時30分から茨歯会館において開催された。

今年は、小学校156点、中学校41点の応募があり、厳正な審査の結果、次のとおり決定した。

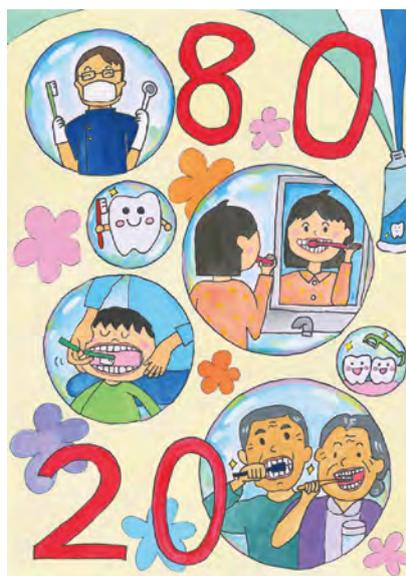
小 学 校 の 部



知事賞 町島 優翔
銚田市立大洋小学校3年



教育長賞 宮川 航
北茨城市立精華小学校3年



歯科医師会長賞 尾崎 智優
境町立猿島小学校6年

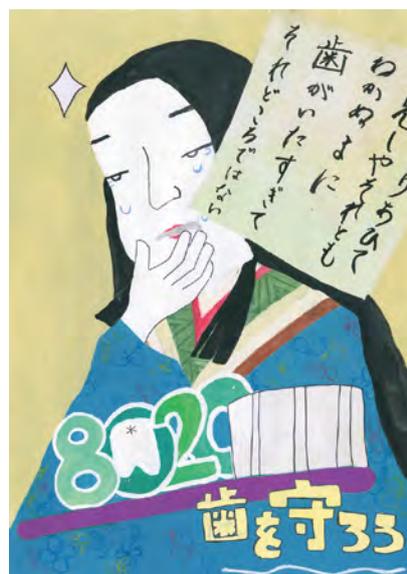
中 学 校 の 部



知事賞 岡 柚那
守谷市立御所ヶ丘中学校3年



教育長賞 野澤 実優
茨城県立下館第一高等学校附属中学校3年



歯科医師会長賞 福田 来南
茨城県立土浦第一高等学校附属中学校1年

令和6年度 歯と口の健康に関するポスターコンクール入賞者名簿

小学校の部

賞名	氏名	学年	学校名
知事賞	町島 優翔	3年	鉾田市立大洋小学校
教育長賞	宮川 航	3年	北茨城市立精華小学校
歯科医師会長賞	尾崎 智優	6年	境町立猿島小学校
優秀	塚原 旭	3年	桜川市立桃山学園
	水野 羽菜	3年	常総市立岡田小学校
	金子 春道	3年	つくばみらい市立伊奈小学校
	福島 葉月	3年	境町立静小学校
	飯島 桜花	6年	鉾田市立大洋小学校
佳作	前島 一翔	3年	石岡市立石岡小学校
	渡邊 結心	3年	つくばみらい市立陽光台小学校
	大瀧 藍	3年	北茨城市立大津小学校
	見口 柚葉	3年	稲敷市立江戸崎小学校
	小林 恋奈	3年	茨城町立青葉小学校
	黒田 真穂	3年	稲敷市立桜川小学校
	馬場 彩	3年	水戸市立堀原小学校
	中島 史桜里	6年	つくばみらい市立谷和原小学校
	鈴木 隆翔	6年	北茨城市立大津小学校
	宮本 晃良	小学部3年	茨城県立伊奈特別支援学校

中学校の部

賞名	氏名	学年	学校名
知事賞	岡 柚那	3年	守谷市立御所ヶ丘中学校
教育長賞	野澤 実優	3年	茨城県立下館第一高等学校附属中学校
歯科医師会長賞	福田 来南	1年	茨城県立土浦第一高等学校附属中学校
優秀	山口 光紀	1年	筑西市立下館西中学校
	鈴木 日菜	1年	つくばみらい市立伊奈中学校
	菅谷 真子	1年	鉾田市立大洋中学校
佳作	原田 真緒	2年	石岡市立石岡中学校
	オコイエ ニコル心優	2年	水戸市立千波中学校
	瀧澤 ひなの	7年	つくば市立高山中学校
	櫻口 姫菜	1年	つくばみらい市立伊奈中学校
	鉄 尊	2年	北茨城市立磯原中学校

令和6年度関東地区歯科医師会役員連絡協議会開催

令和6年9月26日、令和6年度関東地区歯科医師会役員連絡協議会が、群馬県高崎市のホテルグランビュウ高崎にて開催されました。



メインテーマを「更なる結束を目指して」とし、関東地区各歯科医師会の役員・理事など、昨年より70名ほど増え、171名の出席者が集まりました。午後1時30分より分科会、午後3時より全体協議会、午後4時より懇親会が行われました。

分科会は、第1分科会(令和6年度診療報酬改定に伴う諸問題について、会員の増強・組織率拡大について)と第2分科会(歯科口腔保健施策の総合的な構築推進について①災害歯科支援チームJDAT今後のあり方について②歯科健診充実の必要性を啓発するための取り組みについて)の2つに分かれ、活発な意見交換と協議が行われました。

全体協議会では、まず当番県である群馬県歯科医師会の村山会長よりご挨拶があり、来年の参議院選挙に向けて、歯科医師会の「更なる結束を目指して」の協力のお願がありました。次に来賓の高橋英登日本歯科医師会会長より、開業医の9割が保険収入のため、しっかりと保険改定を行っていききたい、また災害に対して適切な対応が取れるようにしていきたい、とご挨拶がありました。続いて、太田謙司日本歯科医師連盟会長、

柘植紳平日本学校歯科医会会長、比嘉奈津美参議院議員、山田宏参議院議員からご挨拶をいただき、次期当番県を山梨県と決定しました。議長に村山利之群馬県歯科医師会会長、副議長に吉田英二山梨県歯科医師会会長が選出されました。前年度協議会の処理報告は栃木県歯科医師会、栃木県歯科医師連盟による報告書・資料により報告されました。分科会報告は第1分科会を高橋群馬県歯科医師会常務理事が、第2分科会を佐野群馬県歯科医師会常務理事がそれぞれ行いました。協議では特に議題は出されませんでした。最後に日本歯科医師会会長予備選挙に立候補を表明された高橋英登日本歯科医師会会長に関東地区歯科医師会の総意としての推薦状をお渡ししました。その後に懇親会が行われ、山本一太群馬県知事、富岡賢治高崎市長が来賓としてご出席ご挨拶をいただき、終始和やかな雰囲気での懇親会が終了いたしました。



理事会報告

第6回理事会

日 時 令和6年9月19日（木）午後4時

場 所 茨城県歯科医師会館 役員室

報告者 柴岡永子

1. 開 会

2. 会長挨拶

3. 連盟報告

4. 報 告

(1) 一般会務報告

(3) 新規指定の歯科医院について

(4) 疾病共済金の支払いについて

(5) 後期高齢者医療広域連合歯科健康診査事業
について

(6) 令和6年度茨城県親と子のよい歯のコン
クール、8020高齢者よい歯のコンクール及び
茨城県歯科保健賞の選考結果について

(7) 第30回茨城県民歯科保健大会の開催につ
いて

(8) 第88回全国学校歯科保健研究大会の開催に
ついて

(9) 水戸プラザホテルにおける婚礼の優待特典
について

(10) 各委員会報告について

厚生委員会、医療管理委員会、広報委員
会、地域保健委員会、学校歯科委員会、社会
保険委員会、専門学校

(11) その他

オンライン資格確認・マイナ保険証の利用
状況等について

5. 協議事項

(1) 入会申込みの受理について

大野啓介先生 つくば地区 東歯大卒
1種 承認

米村裕樹先生 土浦石岡地区 奥羽大歯卒
1種 承認

(2) 地区におけるシニア共済の運営資金不足へ の対応について

承認

(3) 日本歯科医師会選挙人及び補欠選挙人の選 出について

承認

(4) 茨城県保健医療部への要望について

承認

(5) 地区歯会講演会への事業費補助について 〔茨城西南歯科医師会〕

承認

(6) その他

【今後の行事予定について】

9月26日（木）

13時30分から

関東地区歯科医師会役員連絡協議会

（ホテルグランビュー高崎）

10月17日（木）

16時から 第7回理事会

11月21日（木）

16時から 第8回理事会

会務日誌

- 9月19日 施設との連絡調整会議を開催し、入所・入院する者等の実態の把握、対象施設の選定について協議を行った。
出席者 鶴屋副会長ほか1名 木村県老人福祉施設協議会理事ほか1名
- 9月19日 第5回広報委員会を開催。会報10月号の校正・編集作業、レディースコーナー、歯科医学会の取材について協議を行った。
出席者 柴岡広報部長ほか6名
- 9月19日 第6回理事会を開催。入会申込みの受理、地区におけるシニア共済の運営資金不足への対応、日本歯科医師会選挙人及び補欠選挙人の選出、茨城県保健医療部への要望、地区歯会講演会への事業費補助について〔茨城西南歯科医師会〕について協議を行った。
出席者 榊会長ほか16名
- 9月19日 県へき地医療支援計画策定会議がWeb会議として開催され、へき地医療支援機構事業実施状況ほかについて協議が行われた。
出席者 今湊常務
- 9月24日 第4回学術委員会をWeb会議として開催。学術シンポジウム、令和6年度生涯研修セミナー、第33回茨城県歯科医学会について協議を行った。
出席者 鶴屋副会長ほか11名
- 9月25日 水戸市口腔衛生表彰式が水戸市民会館 グロービスホールにて開催された。
出席者 榊会長
- 9月26日 関東地区歯科医師会役員連絡協議会が高崎市「グランビュー高崎」にて開催された。メインテーマを「更なる結束を目指して」として、第1分科会（令和6年度診療報酬改定に伴う諸問題、会員の増強・組織率拡大について）、第2分科会（歯科口腔保健施策の総合的な構築推進について）に分かれ、テーマに沿って協議が行われ、その後は全体会が行われた。
出席者 榊会長ほか8名
- 9月27日 社会保険指導者研修会が日本教育会館にて開催され「医歯薬連携の現状と医療DX時代を見越した連携のあるべき姿とは」についての研修内容で2題の講演、3つの研修が行われた。
出席者 大野社会保険部長ほか18名
- 9月29日 第6回社会保険正副委員長会議を開催。第6回社会保険委員会、理事会、審査、新規個別指導、施設基準講習会、審査委員連絡協議会について協議を行った。
出席者 大野社会保険部長ほか3名
- 9月29日 第6回社会保険委員会を開催。疑義、施設基準講習会、審査委員連絡協議会について協議を行った。
出席者 大野社会保険部長ほか17名

- 9月29日 施設基準の届出に必要な研修会をハイブリッド形式で開催。「今、歯科医師が知っておきたいこと」の演題で千葉大学大学院医学研究院 先端がん治療学研究講座 口腔科学 千葉大学医学部附属病院 歯科・顎・口腔外科 科長の鶴澤一弘先生が講演された。
受講者 586名
- 10月 1日 第3回いばらきスポーツ・健康づくり歯学協議会運営委員会をWeb会議として開催。日本スポーツ歯科医学会認定MG講習会、茨城県歯科医学会での口演発表、日本スポーツ歯科医学会認定MG講習会、日本スポーツ歯科医学会第35回総会・学術大会について協議を行った。
出席者 荻野SHPいばらき運営委員長ほか9名
- 10月 3日 第27回茨城県歯科医師親善地区対抗ソフトボール大会が水戸市総合運動公園にて開催された。今回は鹿行歯科医師会が主管であり、県内6チームが出場、県西歯科医師会「県西バスターズ」が優勝を飾り、準優勝は鹿行歯科医師会であった。
参加者 107名
- 10月 3日 専門学校にて指定校推薦入試を実施。歯科衛生士科、歯科技工士科の受験者に対し、同日行われた合否決定委員会にて受験者全員を合格とした。
- 10月 3日 県歯科衛生士会、県歯科技工士会と本会の歯科3団体による懇談会を開催し、浸潤麻酔、義歯刻名活動及び卒後研修について意見交換を行った。
出席者 榊会長ほか3名 岩村歯科衛生士会長ほか3名 瀬谷歯科技工士会長ほか3名
- 10月 6日 学術シンポジウムを「アライナー矯正を安心・安全に行うためにーアライナー矯正装置の特性と限界を知るー」をテーマに開催。常盤矯正歯科医院院長の常盤肇先生が講演され、その後ディスカッションを行った。
受講者 38名
- 10月 9日 第7回社会保険正副委員長会議を開催。第7回社会保険委員会、理事会、審査、新規個別指導、監査、疑義、審査委員連絡協議会について協議を行った。
出席者 大野社会保険部長ほか3名
- 10月 9日 第7回社会保険委員会を開催。疑義、審査委員連絡協議会、施設基準の講習会の配信について協議を行った。
出席者 大野社会保険部長ほか18名
- 10月10日 第8回歯科助手講習会を開催。「救急処置」「共同動作」「歯科X線、デジタル画像の取扱い」について講義を行った。
受講者 20名
- 10月14日 口腔ケア講習会を県南生涯学習センターにて開催し、「口腔健康管理の基礎」の演題で歯科衛生士による実技指導を交えて、山内隆弘介護保険委員が講演を行った。
出席者 24名
- 10月15日 摂食嚥下研修会の第4回目を開催、「摂食嚥下機能訓練の実際②」について実習を行った。
受講者 66名



茨城県歯科医師会開催 令和6年度 学術シンポジウム
「アライナー矯正を安心・安全に行うために
—アライナー矯正装置の特性と限界を知る—」
講師 東京都新宿区開業 常盤矯正歯科医院 常盤 肇先生

- 講演内容
1. アライナーの基礎知識・アライナーの特性と基礎知識
 2. アライナーの特性と症例選択・予測実現性と症例選択
 3. アライナー治療の流れ・診断と治療における基本テクニック
 - ・IPRとアタッチメントの装着
 - ・リカバリー法
 4. Case Presentation・アライナー治療の実際
 - ・ハイブリッドアライナー矯正症例

日時 令和6年10月6日（日曜日）10：00～13：20
会場 茨城県歯科医師会館 3F講堂

学術委員会 畑中 秀隆

10月6日（日）に令和6年度学術シンポジウムが茨城県歯科医師会館にて開催されました。今年度も昨年に続き現地開催にて開催され、常盤先生のご厚意により企業展示6社（デンツプライシロナ（株）、ストロマン・ジャパン（株）、（株）アソインターナショナル、株式会社バイオデント、マニー株式会社、株式会社ジーシー）にもお越しいただき、会館は賑わいをみせました。

今湊良証学術担当常務理事による開会の辞に続き、榊正幸会長よりご挨拶を頂き、今湊良証常務理事から講師紹介が行われた後、常盤肇先生のご講演を開催いたしました。

以下にその概要をご報告いたします。



1. アライナーの基礎知識

1) アライナー型矯正装置の現状

アメリカではすでにアライナー矯正が主流である。

日本では特に話題のコンシューマーダイレクトと呼ばれる、歯科医がほとんど関与しないマウスピース型矯正が若者を中心に増加しており問題になっている。矯正学会でもアライナー矯正に関する相談件数が年々増えているのが実情。

「アライナー矯正は太平洋横断航海のようなもの」という例え話を用い

- ・実現可能化の判断 (診断)
- ・使用装備の準備 (装置の選択)
- ・航路の計画 (治療計画)
- ・クルーの技術 (術者の治療技術)
- ・アクシデントへの対応 (リカバリー技術)

つまり出港するのは簡単だが、目的地まで確実に到達することが難しい。上記のポイントをおさえることが重要であると説明された。

また「診断なき治療」が大きな問題だとし、メーカーのホームページに情報をアップロードし、セットアップをメーカーサイドで行うことが検査診断ではないということを強調された。

軽度な不正咬合に関してはマウスピース型矯正はワイヤー矯正と遜色ないが、複雑な不正咬合にはワイヤー矯正の方が良い。

常盤先生の私見として、アライナー型矯正装置は、矯正装置の一つにすぎず、その特性と限界を熟知し、矯正臨床に正しく応用するべきとまとめられた。

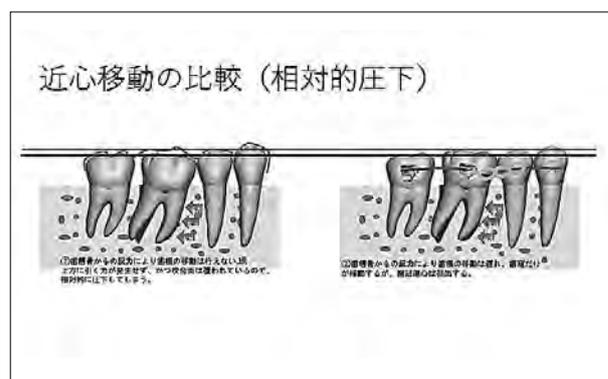
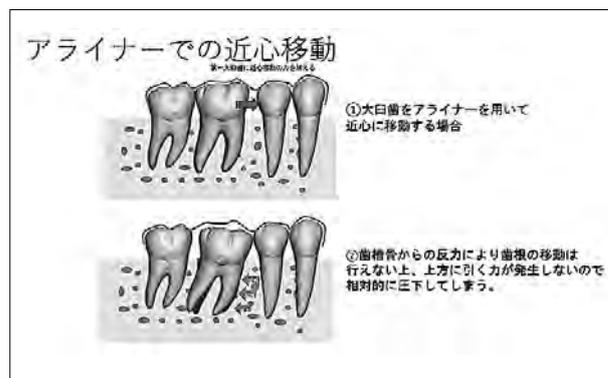
2) アライナー型矯正装置の特徴・特性

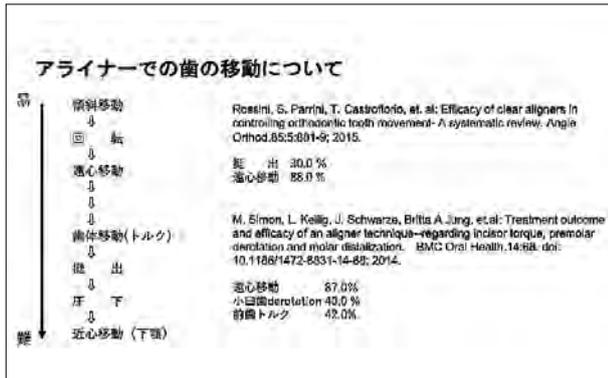
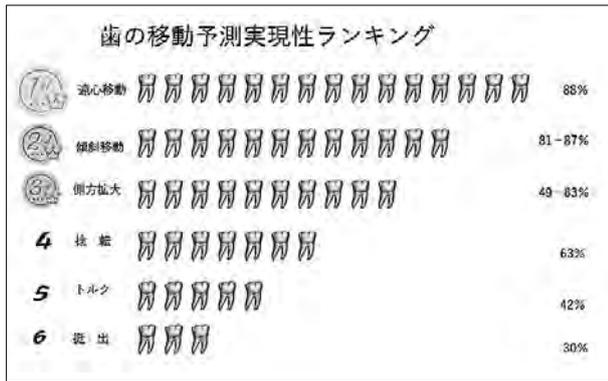
アライナー型矯正装置における素材の要件矯正力を歯に伝えるために

1. アライナーが歯を把持する性能
2. アライナーの変形が元に戻る弾性
3. アライナー着脱時の柔軟性
4. アライナーが壊れない耐久性
5. 加工のしやすさ

多層素材と単層素材があり、多層素材の方が有利に働くことが多い。

トリムラインについてスキヤロップ、フラット、2mmのトリムラインとメーカーによってそれぞれ特徴がある。アライナーの保持力はエンゲージャーを付与した2mmのトリムラインが一番保持力が高い。





3) アライナーでの歯の移動について

アライナーでの歯の移動は、傾斜移動と回転は問題ないが、咬合やトルクには不向き

アライナー型矯正での得意な移動を図に示す

4) 歯の移動速度について

歯の移動速度はワイヤー矯正に比べて30% 速い

セットアップと実際の歯の動きに乖離が起きていることが多い

アライナー矯正を行う場合のKey Point

- ・ 歯科矯正学的検査、診断を行う
- ・ 適応症例の選択
- ・ 治療ゴールの提示、十分な説明と同意
- ・ セットアップシミュレーターの精査
- ・ 生体の解剖学的限界を知る
- ・ アライナー型矯正装置の特性を知る
- ・ 基本技術、リカバリー技術の習得、経験の蓄積

2: アライナーの特性と症例選択

1) アライナーの適応症

アライナーの不得意な移動

挺出 (低位歯)

圧下 (過蓋咬合による前歯の圧下)

大臼歯の近心移動 (抜歯ケース)

* Deep Biteには強いこともある

(Clear Correct)

2) 小児矯正への応用について

日本矯正歯科学会の治療指針では、推奨されない症例の中に「乳歯列期、混合歯列期での顎骨の成長発育や歯の萌出の正確な予測が困難な症例」とあります。一般的にアライナー矯正は、多数のアライナーがデリバリーされるので、歯の萌出状態によっては不適合が生じる可能性が高くなります。また、光学印象をしてアライナーが到着するまでに口腔内が変化する可能性も否めません。一方で小児期の治療において歯列育成のために側方拡大は頻度が高い治療方針であると思います。アライナーによる歯の移動に関する予測実現性は側方拡大が優位にあります。この点は小児への応用には有利に働くように思います。

3: アライナー治療の流れ

1) 検査・診断

メーカー主導のセットアップシミュレーターは検査診断ではない

できればセファロ撮影が望ましい

頭部X線規格写真 (セファログラム) からわかること

- ・ 頭蓋に対する上下顎骨の位置
- ・ 上下顎の相対的位置
- ・ 上下顎前歯部歯軸
- ・ 軟組織 (プロファイル)

- ・頰椎
- ・舌骨

セファログラムが無い場合は外部へ依頼するか、CTを応用する

CTの応用

ANB角 Wits appraisal 歯軸の評価 歯槽骨の評価 (Bone Housing)

2) アライナー治療に必要なテクニック

- ・セットアップシミュレーターのチェック
- ・Interproximal Reduction (IPR)
- ・Engager (アタッチメント) の装着
- ・サポートテクニック
- ・エラスティックの応用
- ・リカバリーのテクニック
- ・Unfit Control
- ・Sectional arch

3) セットアップ製作時の注意点

まずすべきことは、セットアップを自分でチェックすること！

メーカーの提案を鵜呑みにしない

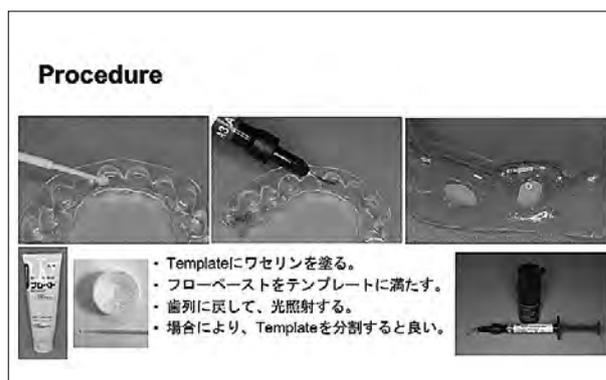
4) Interproximal Reduction (IPR) について

IPRとは、歯と歯の間を削る処置である。エナメル質を0.1mm単位で少しずつ、健康や寿命に影響の出ない安全な範囲内で行う。削る量は片側0.2～0.3mm程度、両側併せて1カ所0.5mm以内にとどめる。

目的

- 1：ブラックトライアングルの改善
- 2：抜歯するほどではないけどスペースが不足している場合
- 3：その他

5) エンゲージャー (アタッチメント) について



6) アライナーModifyについて

アライナーでの歯の動きをアシストするエラスティック (顎間ゴム)、クリアボタン (リングルボタン) などがある
専用の工具があると使用しやすい

7) 矯正を始める前に話しておきたいこと (説明と同意)

- ・ 矯正治療の限界 (審美性の回復、骨格的改善はできないことetc)
- ・ 契約
 - 料金について
 - 治療期間 (症例によって予定通りに行かないこと)
- ・ 矯正治療に関するリスク説明
 - 歯根吸収
 - 歯肉退縮
- ・ 治療ゴールの共有
 - 口元の変化

歯列の変化

抜歯・非抜歯による違い

外科・非外科による違いetc

- ・保定の必要性とその期間について
 - 必ず後戻りが生じるため、最低限の期間保定が必要なこと
 - 矯正するしないに関わらず、生理的加齢現象をして、不正咬合が発生すること

8) マネージメントについて

- 1：着脱はジグを使用
- 2：装着時間、交換のタイミングはレポートを手書きで書いていただく
- 3：コンプライアンスの悪い患者
 - ・初回来院時に、アライナーを1日22時間着用することの重要性を教育
 - ・すべてのアライナーステップで患者に目標とゴールを示す
 - ・患者とのコミュニケーションとサポート
- 4：アライナーの圧接はアライナーチューイを使用する
- 5：アライナーのお手入れ方法
 - ・特に熱いもの、甘いもの、または着色のもの等を摂取する時には、アライナーを取り外す必要あり
 - ・食べ物や飲み物がアライナーの下へ潜り込むのを防ぐために、毎食後磨いた

り、ブラシによる清掃を行う

- ・アライナーを着用していない際、アライナーケースに保管する
 - ・潜在的なアンフィットの問題をトラブルシューティングするために、全てのアライナーを保管し、以前のアライナーを受診日に持参
 - ・アライナーの洗浄
- 6：アライナー矯正でのう蝕管理
 - ・装着前のブラッシングの徹底
 - ・アライナーの除菌・洗浄
 - 7：経過観察
 - ・アライナーのフィッティング
 - ・アライナーの使用時間
 - ・エンゲージャーの位置、形状、適合性の確認
 - ・エンゲージャーがすり減ったり、脱離していれば再設置
 - ・アライナー不適合が1mm以内の場合、チューイを噛ませてフィッティングの改善に努める
 - ・不適合が1mm以上の場合、リバイスを注文する

9) アライナー型矯正治療の不測の事態とその対応

- 1：アライナー矯正の不測の事態
 - ・臼歯離開（咬合接触の喪失）



- ・捻転の残存
- ・歯軸コントロールの不足（ボーイングイフェクト）
- ・アンフィット（アライナーと歯の接触の喪失）
- ・シミュレーションソフトの過信

2：アライナー型矯正治療のリカバリー

アンフィットコントロール

臼歯離開のリカバリー

4：Case Presentation

1) Hybrid Orthodontic Technique

Hybridonticsとは、単一の治療装置ではなくさまざまなコンセプトの治療装置の利点を活かした総合矯正治療法。マウスピース型矯正装置は、様々な点で術者および患者に対しメリットがあるものの、矯正治療学的には未だ不十分な点が多い。そこで、そのデメリットをブラケットやワイヤーなどを併用して補おうとするものである。

例)

- ・アライナー→マルチブラケット
- ・マルチブラケット→アライナー
- ・リンガルアーチ→アライナー
- ・カリエール→アライナー

適応症

- ・非対称アーチ
- ・わずかなスペース
- ・オーバーコレクションの修正
- ・1歯のみの改善
- ・様々な理由でブラケットを外さなければならない場合
 - ・MRIの撮影
 - ・結婚式
 - ・出張、留学

5：アライナー矯正装置の今後

Future tasks

- ・診断基準の確立
- ・治療システムのアップデート
- ・不測の事態の予防策
- ・使用状況のモニタリング

未来へ向けたマウスピース型矯正装置の進化への期待

- ・素材のアップグレード
- ・シミュレーションソフトウェアの進化
 - 生体情報の統合 CBCTとSTLデータを統合して歯根を含めてシミュレーションする
 - 歯根や歯槽骨を含めたセットアップ



6：まとめ

- 1) アライナーは「矯正装置のひとつ」であり、万能な装置ではない
- 2) アライナー矯正治療は患者にとっても術者にとっても有効な治療手段である
- 3) 治療開始時には診断を重視し、適応症を十分に検討した上で使用すれば良好な結果が得られる
- 4) アライナー治療には、知識と技術の習得および経験が必要である

最後に「信の世界に偽詐多く 疑の世界に真理多し」という福沢諭吉の言葉を引用し、

矯正治療は医療行為であり、自身の能力と判断に従って、患者に利すると思う治療法を選択し、害と知る治療法を決して選択しない（ヒポクラテスの誓い第3節）という言葉でまとめられた。



常盤先生よりアライナー矯正についてわかりやすくご説明をいただき、私たち会員にとって注意すべき点を再確認できた内容でした。改めて感謝いたします。



専門学校 の だより

【宿泊研修】

一歯科技工士科一

9月19日（木）・20日（金）の2日間、歯科技工士科2学年4名と、引率2名（野口教務副部長及び専任教員小田倉）で宿泊研修として愛知県へ行ってまいりました。

1日目は、ジブリパークでジブリアニメの世界を堪能してきました。

愛・地球博記念公園の広い敷地の中に、ジブリ作品の世界を再現したエリアが点在していて、ジブリアニメが好きな人ほど夢中になってしまう空間がそこにはありました。

学生も童心に帰り、ジブリの世界を楽しんでいました。

その日の夜は、手羽先やひつまぶしなどの名古屋

屋飯をみんなで食べ、楽しい時間を過ごしました。

2日目は名古屋港水族館に行きました。大きな水槽で巨大なシャチを見ることができたり、大群のペンギンが見られたりと、茨城県の水族館とはまた違うスケール感があり、見ごたえのある展示でした。

今回の宿泊研修は、2日間とも天気は良かったのですが、最高気温が37℃と移動の際は暑くて大変でした。体的にはきつい所はありましたが、心の栄養はばっちり取れたと思います。学生には今後気持ちも新たに歯科技工士になるための勉強を頑張ってもらいたいと思います。

（文責 小田倉）



ジブリパーク、ハウルのお城の前にて

令和6年度 水戸市歯科医師会 イブニングセミナーのご案内

水戸市歯科医師会では「スタッフと共に学ぶ」という統一テーマのもと、平日夜に講演会を企画しております。今年度も昨年に引き続き、カリエスブックの著者として注目されております伊藤直人先生をお招きし、ご講演いただきます。

新時代の Cariology 「その虫歯、唾液のせいですよ！」と題して、齲蝕と唾液の関係や齲蝕の予防についてご紹介していただきます。

う蝕の原因をより深く理解し、患者さんに自信をもって説明ができるヒントになるのではないのでしょうか。歯科関係者のみならず、口腔ケアに携わる医療従事者の方々にもご聴講いただけます様、よろしくお願い致します。

統一テーマ：スタッフと共に学ぶ

今回の演題：新時代の Cariology 「その虫歯、唾液のせいですよ！」

講師：伊藤 直人先生 ORCA・Club22・NMG所属・伊藤デンタルクリニック院長

日時：令和6年11月19日（火曜日）19：00～21：00

場所：ZOOM配信によるWEBセミナー

当日このアドレスまたはQRコードから講演会に参加できます。

<https://us02web.zoom.us/j/84420943508>



参加者：歯科医師・歯科衛生士・歯科医療従事者の他、医療関係者であればどなたでも

※日歯生涯研修ポイント取得方法についてはセミナー受講終了時にご案内いたします。

◆◆◆ 伊藤 直人先生 ご略歴 ◆◆◆

- 2004年 日本大学歯学部卒業
- 2010年 伊藤デンタルクリニック開業
- 2012年 医療法人社団IDC設立理事長就任
- 2016年 伊藤デンタルクリニック移転
- 2020年 『カリエスブック』刊行

◆◆◆ 講演要旨 ◆◆◆

日本は超高齢社会となり、私たち歯科医療従事者は高齢者におけるう蝕の増加という問題に直面しています。う蝕はバイオフィルムを介して起こる非感染性の多因子性疾患ですが、唾液はう蝕の進行において極めて重要な役割を果たします。Cariologyにおいて、唾液の減少はう蝕リスクの中でも最も高い「エクストリームリスク（極度のリスク）」とされています。

実際、唾液減少の有病率は65歳以上の高齢者で30%にも及びますが、多くのケースで口腔内を見ても分からず、患者自身も自覚していないことが多いのです。唾液についての知識が欠如したまま歯科治療を行うことは、まるで目隠しをして診療を行うようなものと言えるでしょう。皆さんも高齢者の患者さんで驚くほど

急速なう蝕の進行を目の当たりにした経験があるのではないのでしょうか。

今回の講演では、う蝕と密接に関わる「唾液」についての知識と実践的なアプローチを、楽しくわかりやすく学んでいただける内容をお届けします。歯科衛生士や歯科助手の皆様もお誘い合わせの上、奮ってご参加いただければ幸いです。

◆◆◆ 受賞・著書・論文など ◆◆◆

2010年 QDT 「step ahead-U35 INTERVIEW」

◆◆◆ セミナー ◆◆◆

2010年 Nobel Biocare Symposium Asia-Pacific2010講演

2011年 オーラルフィジシャンディスカッションセミナー

2011年 Sirona講演「予防という名の治療」

2012年 Digital Communication Fair講演

2012年 Sirona講演「予防という名の治療」

2013年 日本歯科企業協議会講演「若手臨床家の今～奴雁の視点で見た歯科医療～」

主幹：水戸市歯科医師会学術委員会 (mito.ga.pub@gmail.com)

担当：岡野 千春

理事：高根 正敏



〒310-0911 茨城県水戸市見和2-292
公益社団法人
茨城県歯科衛生士会
TEL・FAX 029-253-5807
<https://ibaraki.jdha.or.jp>
E-mail jimu@ibaraki-dh.net

(公社)茨城県歯科衛生士会 県南支部 小野 真由美

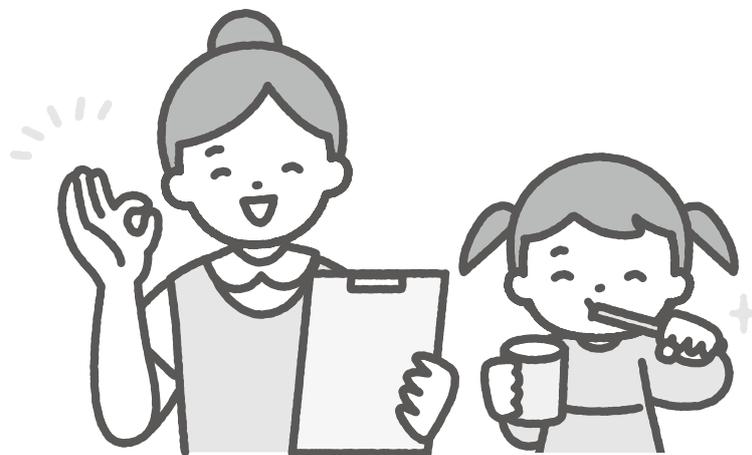
今年度より市町村の母子保健事業で乳幼児健診の仕事をしていただいております。10年以上前に比べるとお子さん達の様子がだいぶ落ち着いていると感じました。3歳児健診時、嫌がって泣いたり暴れたりするお子さんを殆ど見かけなくなり、歯科医師の膝の上で仰向けになって、お口を大きく開けている姿が多く見受けられます。

仰向けになるということ、口や顔に触られるということ、歯を磨くということに「慣れているなあ」「仕上げ磨きをしてもらっているのだなあ」と思うと同時に、ご家族のむし歯予防の知識と意識の高さに気付かされます。酷いむし歯は殆ど見か

けなくなり、小さなお口にピカピカの乳歯が並んでいるのを見ると、私まで誇らしい気持ちになります。

しかし、むし歯になり易いリスク部位の清掃は不十分であることも多く、ブラッシング指導や食事指導等必要だと思われることは多くあります。

健診という短い時間の中ではありますが、ご家族の気持ちに寄り添いながら、むし歯のない乳歯の維持、定期的な歯科受診等のお話しをさせて頂き、永久歯のむし歯予防へ繋げられたらと思います。



みんなの写真館

Photo Gallery

令和6年度 歯と口の健康に関するポスターコンクール 優秀賞作品

中学生の部



山口 光紀



菅谷 真子



鈴木 日菜

小学生の部



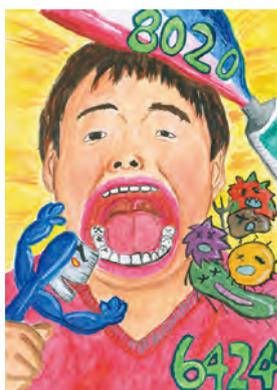
金子 春道



水野 羽菜



福島 葉月



塚原 旭



飯島 桜花

会員数

令和6年9月30日現在

地 区	会員数 (前月比)	
日 立	119	
珂 北	144	
水 戸	157	
東西茨城	72	
鹿 行	105	
土浦石岡	179	
つ く ば	151	
県 南	180	-1
県 西	152	-1
西 南	99	+1
準 会 員	13	
計	1,371	-1

みんなの写真館写真募集!

このページには皆さんからの写真を掲載できます。表紙写真に関連した写真、ご自宅の古いアルバムに埋もれた写真などをお送り下さい。

1種会員	1,092名
2種会員	113名
終身会員	153名
準会員	13名
合計	1,371名



Ibaraki Dental Association
公益社団法人 茨城県歯科医師会

茨 歯 会 報

発行日 令和6年11月
発 行 茨城県歯科医師会 水戸市見和2丁目292番地の1
電 話 029(252)2561~2 FAX 029(253)1075
ホームページ <https://www.ibasikai.or.jp/>
E-mailアドレス id-05-koho@ibasikai.or.jp

発行人 渡辺 進
編集人 柴岡 永子



この会報には、環境に配慮して植物油インキを使用しております。